



ちば畜産レディースネットワーク会報 通算第10号



モ～モ～



フ～フ～

コケッコ



千葉県内の畜産に携わる女性のみなさんの会報です。

活動記録

千葉県農山漁村女性団体ネットワーク交流会（平成25年2月27日・千葉商工会議所）に役員6名が参加、農水産業に携わる女性ネットワークの活性化を図るため、「女性が地域活動で輝くために」をテーマに活発なテーブルトークが行われました。

活動予定

1 平成25年度総会&紫陽花の宴&研修会・情報交換会の開催

レディースネットワークの一大行事である「総会&紫陽花の宴&研修会・情報交換会」が平成25年6月17日、ホテルプラザ菜の花（千葉市）で開催されます。

多くの会員のご出席をお願いいたします。

2 県外視察研修会の開催

平成25年7月9日（火）アクアラインバス停留所集合、アクアラインを通過してバスで横須賀に行き、6次産業化に取り組む事例を視察研修します。（昼食は葉山牛で舌鼓・・・）（事務局 棟葉）



昨年の総会の様子

会員だより

『キラキラ女子力』

館山市 尾形 玲子（養蜂）

「なんてキレイなんだろう」と新緑の山々に映える薄紫色の山藤を愛でつつ、下手な鼻歌を歌いながら房総の山の中を、あっちの蜂場こっちの蜂場と軽トラを走らせている五月・・・

私の仕事はハチ屋さん、畜産業のお仲間に入れて頂いている養蜂業です。

蜂を飼い、蜂が生産してくれる蜂蜜・ローヤルゼリー・プロポリス等を採集し、近年は果物や野菜などの花粉交配をし、美味しく形の良い実を結実させるポリネーションと云う蜂を貸し出す仕事も農業を支える大切な仕事となっています。

青森県出身の父が創業した「ひふみ養蜂園」の二代目です。寒さに弱い昆虫である蜂を温暖な千葉県で越冬させ、春の訪れと共に桜前線のように、花を求めて蜂と共に一家で北上して行くジプシーの様な生活を私が小学校に上がるまでしていました。今でも憶えているのは初夏に青森の十和田の山にテントを張り、トチの蜜やローヤルゼリーを採り、川で洗濯をしたりマキでご飯を炊いたり山菜を摘んだり、大自然の中で蜂と共に過ごしていました。

そんな風に育ってきた私ですが蜂には全く興味はなく、今自分が蜂屋さんになっているのは想像もしない事でした。お花畑に巣箱を置き、蜜を採る。そんな美しいイメージとは違い養蜂業は3K・4Kの重労働で、父の手伝いの人達も長続きはせずジプシブ私が手伝い始めました。蜂が苦手の私も蜂と向き合っているうちに、その能力の高さや働きぶりに何か感じ入るようになりました。人間には到底できない栄養たっぷりの蜂蜜やローヤルゼリーを生み出す事はもちろん、子育てをして巣箱をととてもキレイに掃除し花蜜や花粉を求め飛び、限りある命の中で陰日向なく懸命に働く姿に尊敬すら覚えます。その働き蜂達はメスなのです。まさに女王蜂を中心とした女性社会なのです。『ウーン、女子力ここにあり!!』と女子のはしくれの私は嬉しくなります。キレイだったはずの蜂に今では、前に前に常に前だけに飛び進んで行き、健気に働くその姿に学ばせてもらい、勢い良く輝く生命力に負けないようまだまだガンバローと思わされます。

人工的な物を作るのとは違い、自然や生き物に対するのはとても難しく毎年色々な事が起きます。「何年やっても勉強だ」と云っていた父のように私も毎日毎年の積み重ねです。

「原始、女性は太陽であった」と平塚らいてう女史の言葉のように、何かしら少しでも明るく照らせる輝く存在の女性になれたら・・・ご縁あり畜産レディースのお仲間に入れて頂きました。レッツキラキラ!!

同じ「いきものがかり」の皆様一緒に輝いていきましょう。

